

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

人体の組織修復能力を引き出す再生誘導医薬をはじめとした最先端生命科学研究の成果をもとに、世界の健康と幸福の実現に貢献する。

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の展開と新規事業推進

レダセムチドの導出先企業への側面支援、大阪大学・新潟大学・弘前大学での医師主導治験支援、再生誘導医学協働研究所での産学連携推進。

3. 遺伝子治療技術の開発

骨髄間葉系幹細胞を標的とした遺伝子治療開発。遺伝性皮膚難病への根治的治療研究を推進。

2. 新規再生誘導医薬の開発

複数の候補物質について疾患モデル動物での薬効試験と特許出願を推進。既存品を補完する新薬効プロファイルの開発。

4. 単一細胞機能評価技術の確立

大阪大学との共同で生体内間葉系幹細胞の単一細胞レベル遺伝子発現解析を実施。国内外アカデミアと技術共有。

3 対処すべき課題

① 臨床応用の加速

- ・大阪大学との10年以上の基礎研究データと臨床治験データの相互評価・利用で臨床応用を促進。
- ・表皮水疱症、脳梗塞、慢性肝疾患、変形性膝関節症の臨床治験データ蓄積。

② 研究助成金の獲得

- ・候補物質スクリーニング、基礎研究、候補化合物探索、薬効試験など早期探索研究の高額投資に対応。
- ・公的研究助成金活用により開発リスク軽減。

③ 優秀人材の育成・獲得

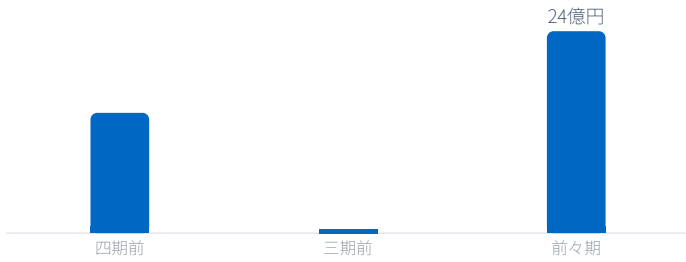
- ・国内外との競争激化に対応する研究人材の確保と育成。
- ・ストック・オプション制度による研究進捗インセンティブ報酬制度の継続実施。

面接で使えるポイント

- ・世界初となる単一細胞レベルの遺伝子発現解析技術をベンチャー企業で確立し、創薬開発力の国際競争力を実証している点。
- ・大阪大学との10年以上の産学連携で蓄積した基礎・臨床データを活用して再生誘導医薬の新適応症開発（脳梗塞…
- ・レダセムチド導出完了後も塩野義製薬への側面支援を継続し、複数候補化合物の導出活動を促進する二段階事業展開戦略。

証券コード 4599

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
62点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 56.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
687万円

医薬品内 62位/80社

平均年齢
40.6歳

医薬品内 71位/80社

平均勤続
5.2年

医薬品内 59位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

